

こしわ 越王だより

家庭数配付

地域回覧

発行所 新潟市立巻北小学校



<http://www.makikita.city-niigata.ed.jp/>

令和4年3月22日 No. 16



奇跡のひと時

校長 上澤田 誠

2月24日(木)の放課後、5年生教室前の廊下を歩いていると、雨具かけにたくさんの「てるてる坊主」が吊り下げられているのが目にとまりました。明日25日(金)は『6年生ありがとうウィーク』のフィナーレを飾る「全校合唱」の日です。希望の庭に出た6年生を校舎内で全校児童が囲み、「星影のエアール」を歌う計画です。「何とか晴れて！お願い！！」5年生の祈るような思いが、「てるてる坊主」の表情から伝わってくるようです。

2月21日(月)から始まった『6年生ありがとうウィーク』では、各学年から心のこもったメッセージやプレゼントが6年生に向けてたくさん届けられました。1年生と2年生は元気のよいダンスとともに、3年生と4年生は6年生のすばらしさを紹介した出し物とともに、それぞれが精一杯感謝の気持ちを表現しています。今年は、全校ダンスも、学年ごとに6年生と踊りました。精一杯踊る下級生を気遣い、サポートしながら上手に踊る6年生の姿が大変印象的でした。

回を重ねるにつれて、学校のリーダーの顔が変わっていく5年生の表情がまぶしく感じられました。また、全校児童の気持ちが大きく盛り上がっていく様子が手に取るように伝わってきました。

そして迎えた最終日。残念ながら朝から雨模様です。開始予定時刻の午後1時に近づいてきても、一向に止む気配がありません。このままでは延期しかないとあきらめかけたそのとき、なんと、角田山にかかっていた雲がだんだんと薄くなり、少しずつ晴れ間が差してきたのです。

予定時刻よりも約10分遅れでの実施を決め、子どもたちが次々と希望の庭とそれを囲む廊下に集まってきました。みんな、きらきらと笑顔を輝かせています。

5年生の楽しいスタートコールとともに、全校合唱が始まりました。6年生は、「ありがとう！」「巻北、最高！」といったプラカードを手に持ちながら笑顔いっぱい、大きく体を揺らしながら歌っています。その6年生に向かって手を振りながら、感謝とお別れの気持ちを込めて全校児童が歌を届けます。全校児童、全職員が心を一つにして、最高のひと時を過ごしました。

全校合唱の終了とともに、また、雨が降ってきました。晴れ間が出たのは、全校合唱を行ったわずか15分ほどの間だけでした。まさに、奇跡のひと時でした。

この一年間、子どもたちはいろんなことを我慢しながら過ごしてきました。きっと窮屈な思いをしたり、戸惑ったりしたことも多かったことと思います。でも、6年生を中心に、「自分たちには何ができるか」「どうしたらよりよく、楽しく過ごすことができるか」を一生懸命考え、工夫しながら学校生活を送ってきました。『6年生ありがとうウィーク』で見られた子どもたちの姿は、間違いなく、その成果の表れであると私は思っています。北っ子は、本当に素敵な子どもたちです！

今年度も、皆様から温かいご理解とたくさんのご支援をいただきましたことに深く感謝申し上げます。



卒業おめでとう



これまで巻北小学校のリーダーとして学校を引っ張ってくれた6年生に、感謝の気持ちを伝えようと、5年生が中心となって「ありがとうweek」を行いました。手作りワッペン、縦割り班からの寄せ書きの色紙、劇やダンスや歌、zoomによる動画のプレゼント等、感染症対策を講じながらできる精一杯の工夫を凝らしたプレゼントに、6年生はとても感激していました。巻北小学校が温かい気持ちでいっぱいになりました。1週間になりました。

